



ら ぶ っ く
La・BOOK

7月号

No.109

「2021 郷土巡回展示 ～安曇野の探究者たち～」を開催します

安曇野の歴史や文化を皆様に紹介していく郷土資料の巡回展示は、市内各図書館のそれぞれの地域にゆかりのある人物に光を当て、「安曇野の探究者たち」として開催します。学問や芸術の道を探究した郷土の先人たちに関わる資料を是非ご覧ください。

○展示で取り上げる人物

- 山本安曇 (穂高立足出身：鑄金美術家)
- 藤森寿平 (豊科新田出身：教育者・画家)
- 白沢保美 (三郷明盛出身：樹木学者)
- 臥雲辰致 (堀金小田多井出身：ガラ紡発明)
- 青木祥二郎 (明科中川手出身：能楽師・人間国宝)



* 〈展示日程〉各図書館を月ごとに巡回します

	7/31(土)～ 8/26(木)	8/28(土)～ 9/23(木)	9/25(土)～ 10/28(木)	10/30(土)～ 11/25(木)	11/27(土)～ 12/26(日)
山本安曇	中央	明科	堀金	三郷	豊科
藤森寿平	豊科	中央	明科	堀金	三郷
白沢保美	三郷	豊科	中央	明科	堀金
臥雲辰致	堀金	三郷	豊科	中央	明科
青木祥二郎	明科	堀金	三郷	豊科	中央



かおはさて、
?分
かど
りな
でた
すか
ん



☆安曇野市図書館8月のイベント予定

☆おはなし会

開催館	おはなし会名	開催日	開催時間	定員
中央	おはなしのとびら	4日・11日・18日・ 25日 (各水曜日)	10時30分から (乳幼児以上対象)	先着7組
	おはなしとしゃかん	21日 (土)	10時30分から (乳幼児以上対象)	先着7組
豊科	ちいさいたんぼぼ	20日 (金)	11時から	先着10組
三郷	ポケットの会	(8月なし)	10時30分から (乳幼児以上対象)	先着10組
	おはなし会	24日 (火)	11時から (乳幼児以上対象)	先着10組
堀金	おはなしのへや	17日 (火)	10時30分から (乳幼児以上対象)	先着7組
	おりがみのへや	25日 (水)	16時30分から (幼児以上対象)	先着7組
明科	子どもと大人のおはなし会	28日 (土)	11時から	先着5組

☆講座など

開催館	講座名など	開催日時	場所	申込等
明科	積木キャラバン おはなし会	3日 (火) 午前10時	「ひまわり」 ハーモニーホール	・対象：就園児以上 (小学3年生以下 は保護者同伴) ・定員：10組 (先着順) ・申込7月27日(火) から
中央	としゃかん塾②	5日 (木) 午後2時～3時30分 (①は7月29日(木) に開催します。)	「みらい」 多目的交流ホール	・対象：小学校3年 生～6年生 ・申込6月23日(水) から
中央	映画上映会 「限界に挑め！ 天空の超人たち ／激走！日本ア ルプス・2016」	9日 (金) 午後6時～開場 午後6時30分～開演 (約119分)	「みらい」 多目的交流ホール	・対象：一般 ・定員：50人 ・申込不要
豊科	積木キャラバン おはなし会	20日 (金) 午後2時～2時30分	「きぼう」 学習室1	・対象：就園児以上 (小学3年生以下 は保護者同伴) ・定員：10組 (先着順) ・申込不要

本のソムリエ (司書) おすすめ本

一般書 『希望名人ゲーテと絶望名人カフカの対話』

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ
フランツ・カフカ/著 飛鳥新社

表紙

ドイツの文豪ゲーテと「変身」を著したカフカ。どちらも名言を多く残していますが、その内容はまさに正反対です。ゲーテは社会的で不屈の精神を持ち、多方面で活躍した「希望の人」、繊細で傷つきやすいカフカはほとんどネガティブな「絶望の人」とされています。

そんな彼らの言葉を「対話」させるように並べたら…？希望も絶望も真実であることが分かり、そして二人の作家がさらに魅力的に思えてきます。

今のあなたには、どちらの言葉がより響くでしょうか？

児童書 『なぜこうなった？ あの絶景のひみつ』

増田明代/文・構成 講談社

山口耕生 (東邦大学理学部准教授) / 監修

表紙

【絶景 ゼッーけい】「すばらしくよいけしき」のこと。

では、絶景と呼ばれる場所はどのようにして誕生したのでしょうか？

この1冊には、世界各国の絶景の紹介とどのようにしてできたのか、写真や絵とともに解説されています。

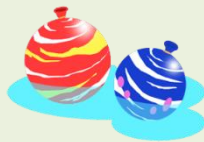
解説がわからなくても写真を見るだけで、旅に出ているような感覚になれて、十分楽しめます。

自然の仕組みや歴史を絶景のひみつを知ることによって感じてみてください。

6月の予約ランキング

一般書

- 1 琥珀の夏/辻村深月
- 2 小説8050/林真理子
- 3 白鳥とコウモリ/東野圭吾
- 4 月下のサクラ/袖月裕子
- 5 52ヘルツのクジラたち/町田そのこ



第165回芥川賞直木賞の発表は7月14日(水)です。お楽しみに！

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-3601
 明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho

明科図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

安曇野薪能はどうして始まったの？

昭和53年、旧明科町出身の青木祥二郎さんが長年の能楽の研鑽に務められた結果、重要無形文化財保持者(総合認定)として認められた。(京都在住)

昭和60年、青木祥二郎さんが明科町施行30周年記念式典に招かれ、能の披露を行い、それから平成6年まで毎年明科で『水郷明科薪能』として能を演じてきた。(平成元年には名誉町民第一号となった)

明科町が安曇野市になってからも明科薪能は引き継がれて、息子さんの青木道喜さんによって「信州安曇野薪能鑑賞会」となって今も続いている。



青木祥二郎さんは、14歳まで明科で過ごし、それから京都の日本画家の家で画家を志したが、画業を断念し、19歳の時、観世流片山博道師(観世流24世家元観世元滋の実弟)の内弟子となり能楽師を目指したのであった。

平成3年悲願の生まれ故郷での薪能を舞ったのは、青木祥二郎さん74歳の時であった。

参考資料

「町報あかしな」No.39・No.155

「安曇野文化」創刊号・第38号・第39号

安曇野文化刊行委員会

「明科の宝」安曇野市の歴史文化遺産再発見事業実行委員会

児童書

- 1 死にざま凶鑑/沖元友佳
- 2 なまえのないねこ/竹下文子
- 3 ふしぎ駄菓子屋銭天堂15/廣嶋玲子
- 4 おばけだじょ/tupera tupera
- 5 おふろにいれて/せなけいこ



AV資料

- 1 アナと雪の女王/クリス・バック 他
- 2 あなたのためのサウンドトラック/清塚信也
- 3 あの日あの時/小田和正

※編集後記※
 「山の日」は、平成28年(2016年)8月11日(今年8月8日)と制定されました。日本一の山岳県である長野県では、これに先立つこと1年前に「信州山の日」を7月の第4日曜日(今年25日)としました。夏のシーズンとなるこの時期に、市内の各図書館では山に関する資料の展示を行っています。たい山を探したり、楽しんでいたり、本のはいかがでしょうか？

